

医学教育学 (医学教育研究室)

研究

主な研究テーマ

- 1. 健康格差の社会的要因(SDH)の教育
- 2. 成績分析と学修指導
- 3. 臨床研修とキャリアパス形成

スタッフ

教授	岡田隆夫, 武田裕子, 冨木裕一
先任准教授	鈴木 勉, 和田裕雄, 西崎 祐史
准教授	渡邊マキノ
講師	
助教	関根美和

2020年9月1日現在

主な研究内容

私たちの健康は、暮らしや経済活動など社会的要因(SDH)と密接に関係しています。病気になったり、治療を中断してしまったときに「患者の自己責任」とせず、その背景に目を向ける医師を育成する教育プログラムや教材を開発しています。医学生は社会的困難を抱えた方々に出会い、医師の役割や自分たちにできることを考え、発信します。

その一環として、「やさしい日本語」に取り組んでいます。「ことばの壁」が医療へのアクセスを阻害し健康格差をきたしている現状があるからです。動画教材を作成しYouTubeで提供しています (<https://easy-japanese.info/archives/391>)。

こうしたSDH教育は社会的共感力(social empathy)を育むという仮説を立てて、現在、その効果を解析し測定する評価ツールに取り組んでいます。

変化する社会のニーズに応える医師養成を医学部の社会的責任として、教育・研究活動を展開しています。



外国人患者役の留学生とロールプレイ

国内の医学部で初めて正規の授業に「やさしい日本語」を導入しました。学内の留学生や研究者が患者役として協力しました。

<https://www.juntendo.ac.jp/core/education/yasashii-nihongo202011.html>

Department of Medical Education

Research

Main Research Subjects

- 1. Health inequities and social determinants of health
- 2. Factors associated with students' academic achievement
- 3. Postgraduate training and career strategies

スタッフ

教授	Okada T, Takeda Y, Tomiki Y
先任准教授	Suzuki T, Wada H, Nishizaki Y,
准教授	Watanabe M
講師	
助教	Sekine M

2020年9月1日現在

Research Highlights

Considering the social inequality and disparity, clinicians need a more profound understanding of people in the social-cultural context. We have developed an elective program for students to understand the social determinants of health (SDH) by participating in community activities to support marginalized people. We believe the program will equip students with social empathy and we are developing a scale to analyze and measure the effect.

To bridge the gap due to the language barrier as a cause of health inequity, we have implemented an “Plain Japanese” communication class for medical students. We have developed educational materials for healthcare professionals to practice “Plain Japanese” in clinical settings (<https://easy-japanese.info/archives/391>).



Role-play with overseas students practicing “Plain Japanese”

We are the first medical school to introduce “Plain Japanese” to the formal curriculum.

<https://www.juntendo.ac.jp/core/education/yasashii-nihongo202011.html>

2019年（平成31・令和元年） 研究業績

講座名：医学教育学

所属長名：岡田 隆夫

区分	番号	学位論文	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号	国際共同
英文原著	1		1.Tomiki Y, Saito K, Hirasawa EA, Mita T, Shimizu T, Suzuki T, Onuma T, Ohtomo Y, Nagaoka I. Club activities of medical students at Juntendo university- Changes of membership over the 30-year Heisei era – Juntendo Medical Journal 2019;65:172-178.	
英文原著	2		2.Tomiki Y, Aoki J, Motegi S, Takahashi R, Hagiwara T, Okazawa Y, Mizukoshi K, Kawai M, Munakata S, Ishiyama S, Sugimoto K, Sakamoto K. Effectiveness of endoscopic sclerotherapy using aluminum potassium sulfate and tannic acid (ALTA) as non-surgical treatment for internal hemorrhoids. Clin Endosc. 2019 Nov;52(6):581-587. doi: 10.5946/ce.2019.017.	
英文原著	3		Takanashi,A., Okada,T.: Differences between young and aged rats in voiding frequency and detrusor muscle serotonergic contraction. Exp. Gerontol. 124:110642, 2019.	
英文原著	4		Saseem Poudel, Satoshi Hirano, Yo Kurashima, Dimitrios Stefanidis, Hirotochi Akiyama, Susumu Eguchi, Toshihiro Fukui, Masaru Hagiwara, Daisuke Hashimoto, Koya Hida, Tomoko Izaki, Hiroataka Iwase, Shunsuke Kawamoto, Yasuhiro Otomo, Eishi Nagai, Mitsue Saito, Hideki Takami, Yuko Takeda, Masakazu Toi, Hiroki Yamaue, Motofumi Yoshida, Shigetoshi Yoshida, Yasuhiro Koderu. A Snapshot of Surgical Resident Training in Japan: Results of a National Level Needs Assessment Survey. Surgery Today. 2019, 49:870-876	
区分	番号		発表者名,発表タイトル (題目・演題・課題等) ,学会名,場所,発表年月日等	国際共同
国際学会発表	1		Masahiro Fujioka, Haruhi Takagi, Hiroaki Motomura, Mika Hayashi, Eriko Kuwasaki, Tetsuhiko Asao, Masako Ichikawa, Yoichiro Mitsuishi, Naoko Shimada, Tetsutaro Nagaoka, Tsutomu Suzuki, Kazuhisa Takahashi. Usefulness of elastography strain ratio for differential diagnosis of benign and malignant lesion in EBUS-TBNA. 24th Congress of the APSR, Hanoi, Vietnam, November 15, 2019	
区分	番号	学位論文	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号	国際共同
和文原著	1		武田裕子, 建部一夫, 岡田隆夫, SDHを体験の中で学び, 伝える : 順天堂大学医学部の研究室配属選択実習「基礎ゼミ」, 医学教育2019 ; 50 : 435~443	
和文原著	2		桑村淳子, 岡田隆夫 : がん終末期患者を対象とする褥瘡発生予測因子の探索. 日本病態生理学会雑誌 28 : 63-72, 2019.	
区分	番号		全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号	国際共同
和文総説	1		鈴木 勉. 医師養成の医学教育、平成を振り返る. 病院設備 61:40-43, 2019	

和文総説	2	武田 裕子. 機関誌「医学教育」投稿区分の見分け方と論文執筆のポイント. 医学教育, 2019 ; 50(6) : 539-544	
和文総説	3	武田 裕子(順天堂大学 医学部医学教育研究室), 建部 一夫, 岡田 隆夫. SDHを体験のなかで学び・伝える 順天堂大学医学部の研究室配属選択実習「基礎ゼミ」. 医学教育, 2019 ; 50(5) : 435-443	
和文総説	4	武田 裕子. 格差時代に医学教育で取り組む「SDH(Social Determinants of Health)」とは? 医学教育, 2019 ; 50(5) : 415-420	
和文総説	5	武田 裕子. 「自己責任」といわない医師を育てたい. 統合失調症のひろば, 2019 ; 14 : 101-106	
和文総説	6	武田裕子. 貧困への介入 メリ多団体合同プロジェクトによる医療機関外での路上生活者への支援 ホームレス状態の方々を地域で支える ハウジングファースト東京プロジェクト. 治療, 2019 ; 101(11): 1305-1311	
和文総説	7	武田裕子. 作業療法を深める やさしい日本語 「やさしい日本語」で外国人患者とコミュニケーション. 作業療法ジャーナル, 2019 ; 53(7) : 674-677	
和文総説	8	武田裕子, 岩田一成. 「やさしい日本語」を用いた外国人診療. 日本医事新報, 2019 ; 4961 : 60-61	
和文総説	9	武田裕子, 北山真樹. 作業療法を深める 健康の社会的決定要因 作業療法士だから気づき,変えられる「健康の社会的決定要因」. 作業療法ジャーナル, 2019 ; 53(1) : 52-57	
区分	番号	全著者名,書籍名,出版社名, 出版年, ページ番号等	国際共同
和文著書	1	1.富木裕一:消化管 腹壁 腹膜疾患. year note内科・外科編(2020年版), メディクメディア社, 東京, 2019	
和文著書	2	2.富木裕一 他. 第113回 医師国家試験問題解説, メディクメディア社, 東京, 2019	
和文著書	3	岡田隆夫他 (分担執筆): 看護師国家試験問題 解答と解説 2020年版 「系統看護学講座」編集室編 医学書院、2019.	
和文著書	4	岡田隆夫他 (分担執筆): 標準生理学 第9版 本間研一監修 医学書院 2019.	
和文著書	5	坂井建雄、岡田隆夫 編: 解剖生理学ワークブック 医学書院、2019.	
和文著書	6	武田裕子. 第1章フィジカルアセスメントを自在に. 『看護師特定行為研修共通科目テキストブックフィジカルアセスメント』武田裕子編, メディカルレビュー社, 2019年, 8-11	
和文著書	7	武田裕子. 第2章③呼吸器 (胸郭と肺). 『看護師特定行為研修共通科目テキストブックフィジカルアセスメント』武田裕子編, メディカルレビュー社, 2019年, 28-35	
区分	番号	発表者名,発表タイトル (題目・演題・課題等),学会名,場所,発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1	片山勇魚、高木陽、本村宏明、堀越公子、松本直久、関本康人、岡本翔一、高遼、伊藤潤、小山良、長岡鉄太郎、鈴木勉、鈴木健司、高橋和久. EBUS-TBNA施行後52日目 に検査生かした縦隔炎の一例. 第168回 日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 東京, 2019年3月16日	
国内学会発表	2	荒井雄太、長岡鉄太郎、欽崎恵理子、岡本翔一、朝尾哲彦、高木 陽、嶋田奈緒子、鈴木 勉、高橋和久. 破損した金属ステントが食道穿通した一例. 第169回日本呼吸器内 視鏡学会関東支部会, 東京, 2019年6月29日	

国内学会発表	3	欽崎 恵里子、高木 陽、本村 宏明、藤岡 雅大、林 美佳、笹野 仁史、朝尾 哲彦、市川 昌子、光石 陽一郎、小山 良、嶋田 奈緒子、長岡 鉄太郎、鈴木 勉、高橋 和。EBUS-TBNA施行時の良悪性鑑別におけるElastography strain ratioの有用性。第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会，東京，2019年7月5日	
国内学会発表	4	齋藤 学，津崎 たから，山口 卓哉，武田 裕子。卒後へき地医療研修プログラム「Rural Generalist Program Japan(RGPJ)」の外部評価 評価学的アプローチ。第51回日本医学教育学会大会，京都，2019年7月27日	
国内学会発表	5	熊倉 陽介(東京大学 大学院医学系研究科精神保健学分野)，清野 賢司，渡邊 乾，岩本 雄次，武石 晶子，田中 のり子，小川 芳範，山北 輝裕，武田 裕子，高桑 郁子，久保田 健司，稲葉 剛，森川 すいめい，ハウジングファーストを日本において実施するためのフィデリティの作成 エキスパートコンセンサスに基づく検討，第39回日本社会精神医学会，福岡，2019年3月27日	
区分	番号	講演者名，講演タイトル，学会名，場所，発表年月日等	国際共同
特別講演・招待講演	1	武田裕子。社会的弱者・健康格差の課題への取り組み 健康格差・健康の社会的決定要因(SDH: social determinants of health)の教育。第51回日本医学教育学会大会，京都，2019年7月26日	
特別講演・招待講演	2	武田裕子。そだ、医学教育誌に投稿しよう!投稿虎の巻 機関誌「医学教育」投稿区分の見分け方と論文記載のポイント。第51回日本医学教育学会大会，京都，2019年7月26日	
特別講演・招待講演	3	武田裕子。格差時代に求められる医師の役割：健康格差の社会的要因(Social Determinants of Health: SDH)。第26回練馬医学会，東京，2019年6月2日	
特別講演・招待講演	4	武田裕子。外国人診療に役立つ「やさしい日本語」。福岡市救急病院協会，福岡，2019年10月4日	
特別講演・招待講演	5	武田裕子。自己責任と健康と社会的決定要因 (SDH) 民医連職員にできること。宮城民医連第8回学術運動交流集会，仙台，2019年6月23日	
特別講演・招待講演	6	Yuko Takeda. Educational Innovation for the Future Physician. Inje University College of Medicine's 40th Anniversary International Symposium, 釜山，2019年5月28日	
特別講演・招待講演	7	武田裕子。医師になる心構えと2年間の研修で身につけるスキルや学ぶべき事。全日本民医連2019年度新入医師オリエンテーション，東京，2019年4月12日	
特別講演・招待講演	8	武田裕子。健康格差と貧困：SDHの視点から。神奈川民医連医師総会，横浜，2019年3月9日	
特別講演・招待講演	9	武田裕子。SDH（健康の社会的決定要因）の視点で医療・介護活動を考える。熊本県民主医療機関連合2018年度学術運動交流集会，熊本，2019年2月10日	
特別講演・招待講演	10	武田裕子。格差時代に求められる医療・介護専門職の役割：健康の社会的決定要因SDH。和歌山県民主医療機関連合2018年度学術運動交流集会，和歌山，2019年2月17日	
特別講演・招待講演	11	武田裕子。指導する側の視点で初期研修のSDHとヘルス・アドボカシーの教え方。全日本民医連全国医師研修委員長・プログラム責任者会議，2019年6月28日	
特別講演・招待講演	12	武田裕子。「やさしい日本語」で外国人診療を。日本プライマリ・ケア連合学会秋季セミナー，2019年9月23日	
特別講演・招待講演	13	武田裕子。「SDH（健康の社会的決定要因）の教育実践」。東京民主医療機関連合会中堅医師交流集会，東京，2019年2月23日	
特別講演・招待講演	14	武田裕子。格差時代のヘルスプロモーション：包摂する地域づくりに果たす病院の役割。第10回日本医療マネジメント学会愛媛県支部学術集会，松山，2019年11月3日	

特別講演・招待講演	15	武田裕子. シンポジウム2 : Social determinants of health: 地域にある国際保健医療活動 : 在留外国人への診療・保健活動を助ける「やさしい日本語」. 第34回日本国際保健医療学会学術大会. 津, 2019年12月7日	
特別講演・招待講演	16	武田裕子. シンポジウム4 : 高等教育機関における国際保健医療教育 : 海外から見た日本の状況. 第34回日本国際保健医療学会学術大会. 津, 2019年12月7日	
区分	番号	研究者名, 活動の名称 (執筆、出演、受賞等) , 執筆や出演の媒体 (賞の主催者等) , 年月日等	国際共同
その他 (広報活動を含む)	1	武田裕子. 医療者のための「やさしい日本語」. 九州国際医療機構セミナー. 福岡, 2019年5月25日	
その他 (広報活動を含む)	2	武田裕子. 「やさしい日本語」ワークショップ. 日本HPHネットワーク第4回J-HPHカンファレンス, 2019年11月10日	
その他 (広報活動を含む)	3	武田裕子. SDHの視点で読み解く「めざす看護」: 理論から実践へ. 青森県民医連看護管理者研修会, 青森, 2019年10月18日	